

第2回 神楽坂「感染症にまつわる数理」勉強会

講演者：梯 正之 氏（広島大学大学院医歯薬保健学研究科）

題目：感染症から学ぶ数理モデリングの心と力

日時：5月19日（土）15:00--17:15

場所：東京理科大学 神楽坂キャンパス 2号館 233教室

概要：

感染症の数理モデルによる研究について個人的に振り返りながら、感染症の流行を数理モデルで捉えることについてのアイデアの発展や分析手法の進歩について概観し、今後のさらなる展開につなげたい。特に、定性的な予測のツールにとどまっていた数理モデルが、観察データの分析に使用されるまでに実用性を持つようになっていることに注目して、背景にある社会的なニーズや情報技術の発達を視野に入れてみてゆきたい。

A review of the development of ideas about mathematical modelling of infectious disease spread and methods of analysis will be presented based on personal history of researches, aiming at further progress. Recent practical use of models in quantitative data analysis rather than early qualitative use are focused in the perspective of social needs and developing information technology.

主催：東京理科大学総合研究院 数理モデリングと数学解析研究部門

連絡先：江夏洋一（yenatsu[at]rs.tus.ac.jp, [at]を@に変えてお使いください。）

世話人：

石渡恵美子（東京理科大学 理学部応用数学科）

牛島健夫（東京理科大学 理工学部数学科）

江夏洋一（東京理科大学 理学部応用数学科）

加藤圭一（東京理科大学 理学部数学科 研究部門長）